

重点項目とアクションプラン

経済

信頼できる価値ある情報に支えられた安心できる社会を創ります。

1. 情報の信頼性確保を通じて資本市場に貢献

情報の信頼性確保を通じた国民経済の健全な発展への寄与を使命とする公認会計士として、財務書類等に加え、今後益々高まる気候変動等の非財務情報ニーズを的確に捉え、情報開示の発展と信頼性確保を通じて、変化する資本市場とその発展に貢献します。



※2021年6月に国際統合報告評議会(IIRC)及びサステナビリティ会計基準審議会(SASB)が組織統合し設立

取組

主な成果

短期>>

今後のアクションプラン

中長期>>>>

株式新規上場（IPO）に携わる関係者との連携

◎IPO関係者が相互に知見や課題を共有することを目的とした対話イベント「IPO会計監査フォーラム」の開催

◎「IPO会計監査フォーラム」の継続的な開催



IPOに携わる監査事務所への対応

◎IPO監査の新たな担い手となる「中小監査事務所のリスト」作成
◎「IPO支援に関わる独立開業の公認会計士名簿」作成

◎IPOに関する状況把握及び対応

IPOを目指す企業向け支援

◎IPOのための事前準備ガイドブックの公表

◎IPO施策の周知活動



リモートワーク環境下における企業の業務及び決算・監査上の対応

◎リモートワーク対応の留意事項の公表
◎リモートワークを俯瞰した論点・課題（提言）の公表

◎恒久的な取扱いを実務指針等を含めるための改正
◎リモートワーク環境下における企業の業務プロセス・内部統制の在り方及び監査の在り方の見直し検討
◎リモートワークをテーマとしたシンポジウムの開催

ITの技術進歩が公認会計士業務に及ぼす影響を中長期的な視点から調査研究

◎IT委員会未来の監査専門委員会研究報告の公表

◎日本公認会計士協会と理化学研究所との共同研究「AI等のテクノロジーの進化が公認会計士業務に及ぼす影響」

◎ITの技術進歩に合わせた調査研究をふまえた意見発信